

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 4 月 19 日(2022.4.19)

【公開番号】特開 2020-171418(P2020-171418A)

【公開日】令和 2 年 10 月 22 日(2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2020-043

【出願番号】特願 2019-74136(P2019-74136)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 9 日(2022.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、
所定の演出態様の演出モードを設定可能な演出モード設定手段と、
所定の遊技演出を実行する遊技演出実行手段と、
前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると、遊技者に有利な特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、
前記識別情報と、前記演出モード設定手段が設定した演出モードの演出態様と、前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出と、を少なくとも表示する第 1 表示部と、
前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出を少なくとも表示する第 2 表示部と、を有し、
前記第 1 表示部は遊技領域の略中央部に設けられ、前記第 2 表示部は前記第 1 表示部の周囲の所定の位置に設けられ、
前記演出モードとして、特別演出モードを有し、
前記特別演出モードは、前記特別遊技終了後に設定されると共に、特定回数の前記識別情報の変動表示を実行することに基づいて終了するものであり、
前記識別情報の変動表示の実行回数を表示する変動回数表示部と、
前記特別演出モードが終了するまでの前記識別情報の変動表示の残り回数を表示する残変動回数表示部と、を有し、
前記残変動回数表示部は、前記第 1 表示部に表示され、前記変動回数表示部は、前記第 2 表示部に表示され、
前記遊技演出として、通常遊技演出と、特定遊技演出と、を有し、
前記特別演出モードにおいて前記通常遊技演出を実行する場合、前記通常遊技演出は、前記第 1 表示部に表示されるものであって、前記第 1 表示部では前記通常遊技演出及び前記残変動回数表示部を表示し、前記第 2 表示部では前記変動回数表示部を表示して前記通常遊技演出を非表示とし、
前記特別演出モードにおいて前記特定遊技演出を実行する場合、前記特定遊技演出は、前記第 1 表示部及び前記第 2 表示部に表示されるものであって、前記第 1 表示部では、前記特定遊技演出を優先表示して前記残変動回数表示部を非表示とし、前記第 2 表示部では、前記変動回数表示部を優先表示して、前記特定遊技演出及び前記変動回数表示部を表示するものとされ、

50

前記特定遊技演出は、前記通常遊技演出よりも、前記特別遊技の実行可能性として高い可能性を示す遊技演出である
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

前述の課題を解決するための第１発明の遊技機は、

10

所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、

所定の演出態様の演出モードを設定可能な演出モード設定手段と、

所定の遊技演出を実行する遊技演出実行手段と、

前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると、遊技者に有利な特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、

前記識別情報と、前記演出モード設定手段が設定した演出モードの演出態様と、前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出と、を少なくとも表示する第１表示部と、

前記遊技演出実行手段が実行する遊技演出を少なくとも表示する第２表示部と、を有し、

前記第１表示部は遊技領域の略中央部に設けられ、前記第２表示部は前記第１表示部の周囲の所定の位置に設けられ、

20

前記演出モードとして、特別演出モードを有し、

前記特別演出モードは、前記特別遊技終了後に設定されると共に、特定回数の前記識別情報の変動表示を実行することに基づいて終了するものであり、

前記識別情報の変動表示の実行回数を表示する変動回数表示部と、

前記特別演出モードが終了するまでの前記識別情報の変動表示の残り回数を表示する残変動回数表示部と、を有し、

前記残変動回数表示部は、前記第１表示部に表示され、前記変動回数表示部は、前記第２表示部に表示され、

前記遊技演出として、通常遊技演出と、特定遊技演出と、を有し、

前記特別演出モードにおいて前記通常遊技演出を実行する場合、前記通常遊技演出は、前記第１表示部に表示されるものであって、前記第１表示部では前記通常遊技演出及び前記残変動回数表示部を表示し、前記第２表示部では前記変動回数表示部を表示して前記通常遊技演出を非表示とし、

30

前記特別演出モードにおいて前記特定遊技演出を実行する場合、前記特定遊技演出は、前記第１表示部及び前記第２表示部に表示されるものであって、前記第１表示部では、前記特定遊技演出を優先表示して前記残変動回数表示部を非表示とし、前記第２表示部では、前記変動回数表示部を優先表示して、前記特定遊技演出及び前記変動回数表示部を表示するものとされ、

前記特定遊技演出は、前記通常遊技演出よりも、前記特別遊技の実行可能性として高い可能性を示す遊技演出である
ことを特徴とするものである。

40

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

このような遊技機によれば、識別情報と、演出モード設定手段が設定した演出モードの演出態様と、遊技演出実行手段が実行する遊技演出と、を少なくとも表示する第１表示部と、遊技演出実行手段が実行する遊技演出を少なくとも表示する第２表示部と、を有してい

50

る。また、特別遊技終了後に設定され、特定回数の識別情報の変動表示に基づいて終了する特別演出モードを有している。また、識別情報の変動表示の実行回数を表示する変動回数表示部と、特別演出モードが終了するまでの識別情報の変動表示の残り回数を表示する残変動回数表示部と、を有し、第１表示部に残変動回数表示部を表示し、第２表示部に変動回数表示部を表示する。これにより、識別情報の変動した回数を認識可能な変動回数表示部と、特別演出モードの残回数と、を別々の表示部で、夫々認識することが可能となる。またこれにより、遊技者は、遊技の状況（進行状況）を正確かつ確実に把握することが可能となる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の遊技機によれば、遊技演出の視認性を極力確保しながら、容易に遊技状況を把握することが可能な遊技機の提供を図ることが可能となる。

10

20

30

40

50